


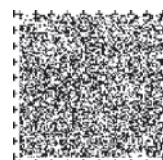
平成22年度 特別支援学校におけるキャリア教育推進事業
知的障害特別支援学校キャリア教育推進委員会報告書

夢と可能性を実現につなげる **キャリア教育**

～パソコン入力技能検定マニュアル・
喫茶接遇サービス指導マニュアル～

平成23年3月

 東京都教育委員会



目 次

I パソコン入力技能検定

○教師進行マニュアル



II 喫茶接客サービス技能検定

○生活単元学習等での

「喫茶接客サービス」指導マニュアル



はじめに

特別支援学校におけるキャリア教育とは、自分でできることを増やそうとする態度・意欲（勤労観）を育み、自らの生き方を主体的に考え、進路を適切に選択できる能力・態度（職業観）を小学部段階から児童・生徒の障害の特性や発達段階に応じて育成する教育のことです。労働や就職・就労のみにとらわれず、就労に向けての職業教育に限ったものではありません。

東京都教育委員会は、これまで知的障害特別支援学校キャリア教育推進委員会において、清掃技能検定テキスト、喫茶接客サービス技能テキストを作成し、各学校での普及を進めてきました。これらの技能検定の内容は、就労を目指すための基本的なスキルであるとともに、有効な人間関係を形成するために必要なことを含んでいます。さらに、コンピュータの普及が著しい今日にあっては、パソコンの基本的な操作を身に付けることによって、障害のある子供たちの生活を豊かにすることはもとより、企業等への就労の可能性を大きくすると考えられます。そこで、東京都教育委員会は、平成20年度からパソコン入力技能検定を開発し、その問題作成基準と教師の技能検定の進め方を発表しました。

今年度は、パソコン入力技能検定の進め方について教師進行マニュアルを作成しました。パソコン技能検定は、他の技能検定とは異なり各学校で開催できるものであるため、全ての学校で同一の手順での技能検定を実施するために作成したものです。

また、本書の後半には、喫茶接客サービス技能検定に関して、学校に喫茶設備がない場合でも生活単元学習等において実施できるよう、指導マニュアルを作成しました。

技能検定に多くの学校の児童・生徒が参加できるように、これまで作成したマニュアルと共に本書の活用をお願いします。



I パソコン入力技能検定

さあ始めましょう。

学校でできるパソコン入力技能検定



Step 1 技能検定の準備をする。

- 1 「情報」又は「生活単元学習」の時間に、パソコン入力技能検定の時間を設定します。
- 2 学習コンテンツ活用システム(<https://contents.ict.kyoiku.metro.tokyo.jp/>)から、パソコン入力技能検定ファイルを教育用パソコンに保存します。

 パソコン入力技能検定.xlsx

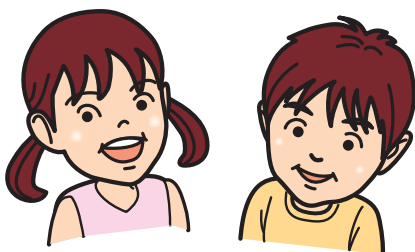


- 3 指導者同士でこのマニュアルを読み合わせ、進め方の共通理解を図ってください。
責任者の教師は、全体の指示をしながら技能検定を進め、他の教師は進行の補助とともに、児童・生徒の支援を行います。支援にはルールがありますので、必要以上の支援をしないことに留意する必要があります。

- 4 パソコン入力技能検定カードを使って、児童・生徒に検定に対する興味・関心を引き出し、積極的に挑戦しようとする気持ちを高めてください。

パソコン入力技能検定カードは、パソコン入力技能検定ファイルにあります。各学校で児童・生徒の実態に合わせて、評価が分かりやすくなるよう工夫してください。

日付を入れ、次回の技能検定に向けて見通しを持って練習に取り組むなど、児童・生徒の学習意欲が継続するようにパソコン入力技能検定カードを活用してください。



パソコン入力技能検定カード			
	むずかしさ	日付	合格
初段	40字くらいの文章 全部で260文字 漢字レベル3		
1級	30字くらいの文章 全部で210文字 漢字レベル3		
2級	30字くらいの文章 全部で210文字 漢字レベル2		
3級	20字くらいの文章 全部で160文字 漢字レベル2		
4級	20字くらいの文章 全部で160文字 漢字レベル1		
5級	15字くらいの文章 全部で100文字 漢字レベル1		
6級	15字くらいの文章 全部で100文字		
7級	5文字の単語		
8級	2～3文字の単語		
9級	2文字の単語		
10級	1文字の単語		

にんていしょ
合格して認定書をもらおう！！

学部 年 組

パソコン入力技能検定の利点

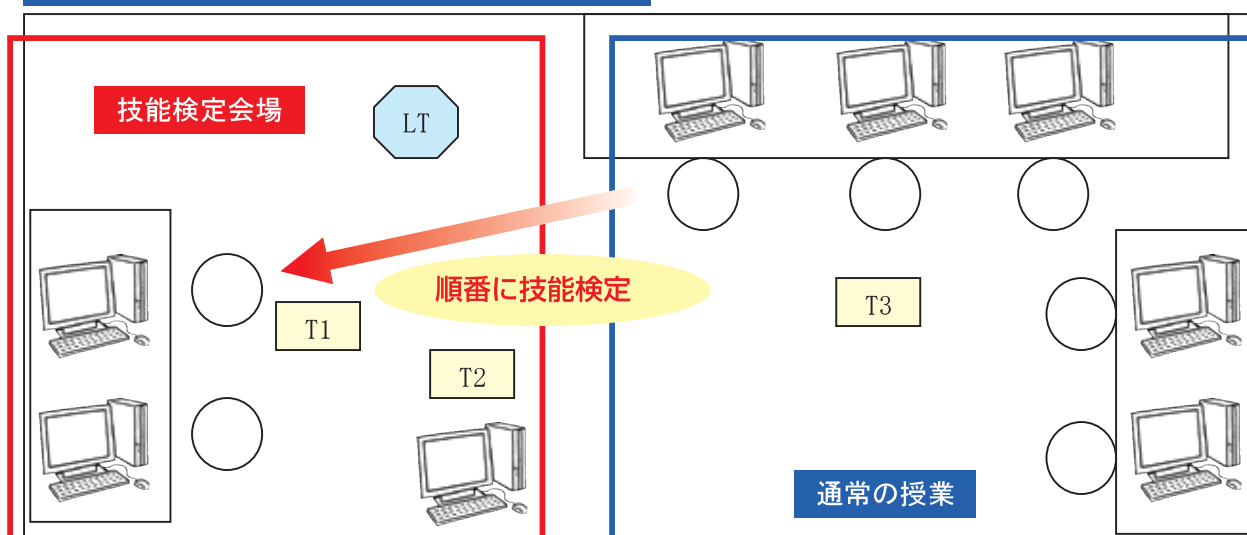
- ・ 検定会場に集まる必要はありません。自分の学校で受検できます。
- ・ 小学部の児童も参加できます。
- ・ 東京都の特別支援学校の児童・生徒が同じ技能検定に取り組めます。
- ・ 初段の獲得で、一般の文字入力検定を受けられる実力になります。

Step2 パソコン入力技能検定を実施する。

1 教師進行マニュアル（P2～P6）に従って、技能検定を行います。

パソコン入力技能検定は、設定した時間内で一斉型の技能検定（集団方式）、抜き出し型の技能検定（個別方式）と検定方式を各学校で設定できます。

パソコン入力技能検定の配置図例（抜き出し型）



※ LT：リーダー教師 T1～T3：リーダー以外の教師 ○：児童・生徒

リーダー教師は、全体の授業の進行とともに、パソコン入力技能検定をすすめます。教師1は技能検定の支援、教師2は順番に採点、教師3は技能検定前後の通常の学習の指導といった役割分担で技能検定を実施できます。

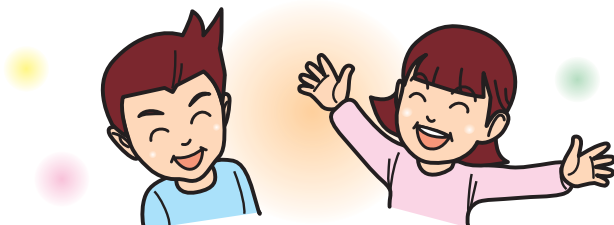
2 採点を行います。（P6～P8）

3 児童・生徒に評価を知らせます。

(1) パソコン入力技能検定カードの合格欄に、○かシールを入れて合格を発表します。

(2) 認定書を渡して、みんなで祝いましょう。

サンプルは、技能検定ファイルの中にあります。



認定書

(級・段)

〇〇特別支援学校 〇〇 〇〇殿

あなたは、東京都教育委員会の認める
平成 年度都立特別支援学校パソコン
入力技能検定において、頭書の成績をおさ
めました

よってここにその実力を認定します
さらなる技術向上をめざしていきましょう

平成 年 月 日

都立〇〇特別支援学校

校長 〇〇 〇〇

1. 教師進行マニュアル

始める前に

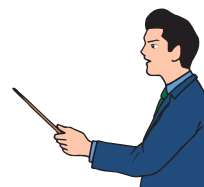
- ① 授業1単位時間内に行ってください。
- ② 技能検定は、各学校パソコン教室や普通教室等で行えます。
- ③ マニュアルには10級から7級まで（マニュアルA）と、6級から初段まで（マニュアルB）があります。




パソコン技能検定マニュアルA（10級から7級）

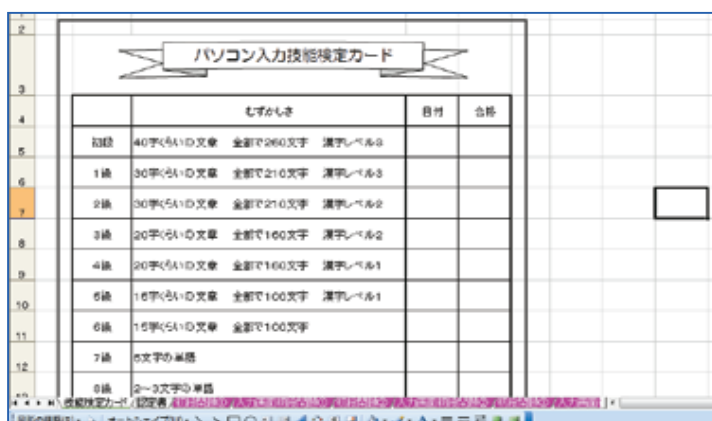
1 事前準備

- ① 児童・生徒は、所定のパソコンの前に着席します。
- ② 教師が、パソコンを起動し、技能検定ファイルを立ち上げてください。
パソコンの起動技能は、パソコン入力技能検定では問いません。



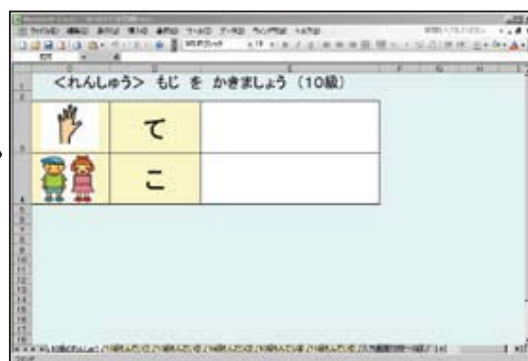
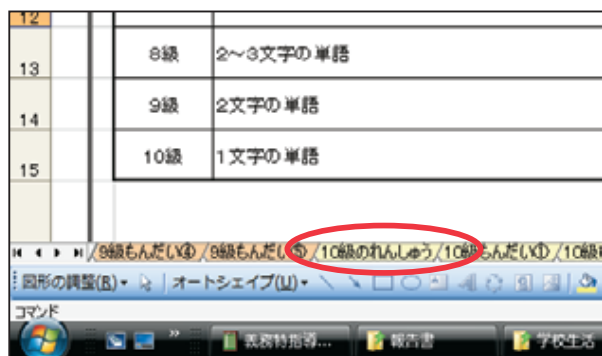
 パソコン入力技能検定.xlsx

ダブルクリック





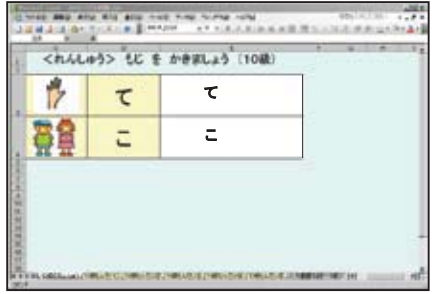
	もずからさ	目付	合格
10級	40字以内の文章 全部で260文字 漢字レベル3		
9級	30字以内の文章 全部で210文字 漢字レベル3		
8級	30字以内の文章 全部で210文字 漢字レベル2		
7級	20字以内の文章 全部で160文字 漢字レベル2		
6級	20字以内の文章 全部で160文字 漢字レベル1		
5級	15字以内の文章 全部で100文字 漢字レベル1		
4級	15字以内の文章 全部で100文字		
3級	5文字の単語		
2級	2～3文字の単語		

- ③ 教師が、児童・生徒の実態に応じて「かな・ローマ字」入力設定をします。
- ④ 「コンピュータに触らないでください」と指示します。
- ⑤ 教師が、画面下の検定問題のタグからの「〇級れんしゅう」を選びます。

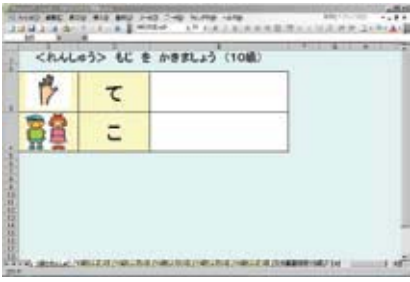
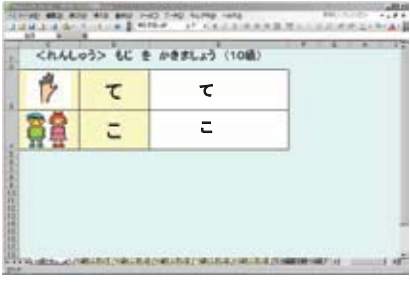


◎ これで準備はOK！！

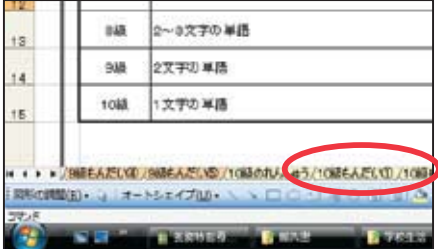
2 説明（例示）

児童・生徒の活動	教師の活動（「」内は指示）
<ul style="list-style-type: none"> 教師の指示を聞き、やることを理解する。（パソコンは操作しない。） <p>大きな画面での一斉の例示による理解が難しい児童・生徒には、サポート教師によりそれぞれ使用するパソコンで説明をする。</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 「これから説明をします。」 「画面を見てください。これから先生が入力するところを見てください。（打ちます。）」  <ol style="list-style-type: none"> パソコンの所定の文字枠に文字を入力して児童・生徒に見せる。 

3 練習 児童・生徒が2問の入力を行う

児童・生徒の活動	教師の活動（「」内は指示）
<ul style="list-style-type: none"> 説明を聞く。  <ul style="list-style-type: none"> 2問の入力を行う。  <ul style="list-style-type: none"> 入力を終了し、待つ。 	<ol style="list-style-type: none"> 教師は、カーソルが最初の入力セルにある状態にして確認する。 「最初に練習します。」 「パソコンの画面(左側)と同じ文字を入力します。2問行います。」 「始めます（始めてください。）」 児童・生徒の入力状況を見届けて、練習の終了を伝える。

4 技能検定 10問の入力を行う

児童・生徒の活動	教師の活動（「」内は指示）
<ul style="list-style-type: none"> 検定問題の入力を行う。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><技能検定中の支援について></p> <ol style="list-style-type: none"> 10問中8問入力できることが合格ラインである。支援を受けて入力したものは誤答とする。 2問の支援でも入力できない児童・生徒には、技能検定としては不合格になるが、支援して技能検定をやりきるようにする。支援の回数や方法は、技能検定終了後のコメントとして記録する。 一度、入力した回答の訂正は、児童・生徒が自ら気づき打ち直す場合は認める。ただし、訂正にあたっての支援はできない。 可否に関係しない技能検定中の「支援」は可とする。（生徒の誤操作や、パソコン本体の予期しない不具合を修正するための操作等に関する事など）ただし、カーソル移動に関わることは、コメントとして記録する。 </div>	<ol style="list-style-type: none"> ① 練習問題から検定問題にワークシートを切り替える。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> ② 最初の入力セルにカーソルがあることを確認する。 ③ 「これから検定を始めます。」 ④ 「練習と同じように、文字を入力（打ちます）。試験は10問（10個）です。」 「時間は15分です。早く終わったら、間違いがないかよく見直してください。」 ⑤ 「始めます（始めてください）。」 ⑥ 計時を開始する。

5 終了

生徒の活動	教師の活動（「」内は指示）
<ul style="list-style-type: none"> 指示を聞き、入力を終了する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>◇ 技能検定終了直後に、児童・生徒が誤って入力したデータを消してしまうことがないように、教師がデータ保存等の必要な操作を行う。</p> <p>児童・生徒を速やかにパソコンから離すなど、各学校の児童・生徒や実施教室の実態にあった工夫を行う必要がある。</p> </div>	<p>15分経過したら検定を終了する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「手を離してください。これで検定を終わります（「手はひざ。気を付け。」等でも可）。」 ② 適宜、生徒を退席、退室させる。